

セッション 1

神の御国

教師用ガイド

御国のストーリー ディスカッション・ガイド

今週の読書課題について

「御国のストーリー」では、創造、墮落、贖い、最終的な回復という福音の4区分(4章)を紹介します。これは私たちが住んでいる世界についてよく理解し、またそれに関わっていくための枠組みとなるものです。この「御国のストーリー」を用いることによって、私たちの毎日の生活で起こる様々な出来事を分析し、解釈する能力を伸ばすことを身につけます。

教師のための覚え書き

この課は、2つの概念を教え、それに関連する2つの能力を引き出すための手助けとなるものです。

第一に、学習者は、御国のストーリーの4区分(4章)の枠組みを理解し、それを使えるようにならなければなりません。この課では、そのような能力を引き出し、理解できるようになるための入門の役割を果たします。

第二に、2区分(2章)の福音(墮落と贖い)と、4区分(4章)の福音(創造、墮落、贖い、回復)とでは、大きな違いがあります。それぞれの福音に基づいて生じた場合の微妙な違いを、学習者は理解する必要があります。また4区分(2章)の福音の聖書の根拠を理解する必要があります。ここでは、私たちが耳にするメッセージの微妙な違いをしっかりと把握する能力が必要となります。

この課の目標

- 1) 学習者が4区分(4章)の福音を理解し、自分の言葉で表現したり説明したりできるように助ける。
- 2) 学習者が2区分(2章)の福音と4区分(4章)の福音の違いを識別できるように助ける。

資料

注：このディスカッションを導く際の準備として、1994年に起こったルワンダ虐殺について、特に、暴力に至る一因となった文化的要因について予備知識を得ておくことを勧めます。最初に読むものとしては、Mike Metzger 著 Unending Horrors (「終わりのない恐怖」)が良いでしょう。

Unending Horror, Mike Metzger - 4区分の福音と大虐殺について論じている。
The Clapham Institute [newsletters@claphaminstitute.org] 2007年4月21日送信

コメント [s1]: この本の日本語訳がない場合、この箇所の日本語はどうするか？

コメント [s2]: 上に同じ

コメント [s3]: 上に同じ

学びの構成

この課の学びには2時間半を予定してください。

20分間

ディスカッション：御国のストーリー

10分間

ディスカッションの題材：「ホテル・ルアンダ」からの抜粋シーンを見て、1994年の大虐殺後に大量殺人の罪で最初に有罪となったルアンダ人牧師の場合と比べてみてください。

映画のシーン説明を参照

20分間

講義とディスカッション：クリスチャンとしての信仰を持ちながら、その人の行動が信仰と全くかけ離れたものになってしまうのはどうしてでしょうか。私たちが教えることの微妙な違いが、こうした事態を引き起こしているとしたら、それはどうしてなのでしょう。

この短い講義は、映画の抜粋シーンを見た後に行いますが、4区分（4章）の福音の重要性を教えるのに役立つ構成となっています。学習者が2区分（2章）の福音と4区分（4章）の福音の違いを認識し、それぞれどのような影響を与え得るか理解できるように導いてください。

第2課の講義ノートを参照。

30分間

実習：「2区分（2章）の福音 v.s. 4区分（4章）の福音」 ディベートとディスカッション

実習ノートを参照

25分間

プロジェクトについてのディスカッション：プロジェクト1「原状、現状、可能性、将来を適用するには」

注：このプロジェクトは予習としての読書課題とディスカッションから構成されています。グループのメンバーには、前もって読書課題を与え、プロジェクトについてディスカッションができる準備をして来るよう伝えてください。

15分間

まとめと課題：

読書課題：贖いの共同体と神の国

プロジェクト：人々との関係を広げるパーティを主催する*

*人々との関係を広げるパーティの主催を個人で行なうかグループで行うかは、グループのメンバーと一緒に決めてください。

コメント [s4]: この訳はなかなかうまいと思います

コメント [s5]: brush-upにはそういう意味があるでしょうか？

コメント [s6]: 上記に同じ

御国のストーリー ディスカッション

ディスカッションに関する指示：御国のストーリーについて話し合ってください。今週の学びのために読んだ記事についてグループで語り合う時間を与えてください。この時間は、グループのメンバーに質問をさせ、彼らが記事の大きなテーマを理解しているかどうか確認するために用いてください。質問は、自分で用意しても構わないし、以下に挙げた質問でもどちらでも結構です。ディスカッションは大きなグループでも、また少人数に分かれてもどちらでも結構です。

- 1) 御国のストーリーの4区分（4章）とは何ですか。
- 2) 福音を伝えるとき、福音のどの部分があなたにとって最も伝えやすいですか。どの部分が最も伝えるに難しいですか。それは何故ですか。
- 3) 記事の中に、あなたの考えとは違う部分がありましたか。
- 4) あなたにとって、4区分（4章）の福音の中で最も説明するのが難しい部分はどこですか。それは何故ですか。

ホテル・ルワンダ ディスカッションの題材



出演者：ドン・チードル、ソフィー・オコネドー、ホアキン・フェニックス、ニック・ノルティ
監督：テリー・ジョージ
配給：MGM/UA
上映時間：121分
部門：ドラマ、戦争
年齢制限：PG-13

映画の概要：実話に基づいたこの戦争ドラマは、1994年に市民の大虐殺が行われたルワンダの首都キガリが舞台となっています。多数派であるフツ族がツチ族に対する虐殺を開始すると、高級ホテルの支配人であったフツ族のポール・ルセサバギナ（ドン・チードル）は、ツチ族である妻と子供、隣人たちやその他ホテルに避難してきた1200人以上の難民をかくまうために、血に飢えた民兵に対して勇敢に立ち上がりました。1994年の100日余りの期間に80万人を超えるツチ族の人たちが殺害されました。ルセサバギナの物語は—ドン・チードルの素晴らしい演技を通して—私たちに、人間性の最も良き部分と悪い部分を教えています。

抜粋シーンの紹介：ルワンダでは何か月にもわたり、フツ族とツチ族の間の緊張が高まっていました。住民たちが暴力行為に向けて準備を整える一方で、ポール・ルセサバギナは国連平和維持軍に希望をおいていました。このシーンでは、ホテルにいるポールの元に、義理の兄夫妻が訪ねてきます。二人は怯えていて、今にも起ころうとしている恐ろしい出来事についてポールに警告します。

考察材料：文化の改革には目を向けず個人の改宗ばかりを強調する2区分の福音が、ルワンダの大虐殺を引き起こす一因となったという可能性はあるでしょうか。

ディスカッション：この映画の抜粋シーンを見た後に、4区分の福音がもたらしたかもしれない違いについて、講義とディスカッションを行います。講義の後に実習を行います。そこでは2区分の福音と4区分の福音の違いを識別することが出来るように構成されています。

場面の区切り：タチアナの姉と義理の兄がホテルにやって来て、暴力（高い木を切る）が始まることをポールに警告する場面から、翌朝ポールとタチアナが暴力によって悲惨な状態になっている町を車で通りぬけるところまで。この抜粋シーンは約11分間。

コメント [s7]: ここは実際のDVDで確認して下さい

2区分(2章)の福音か、4区分(4章)の福音か
講義とディスカッション
20分間

講義ノート

1994年までのルワンダは、アフリカにおける主要なキリスト教国と考えられていました。他のアフリカ諸国に比べて最も多くの伝道集会が行われましたし、また、人口比率で最も高い改宗率を誇っていました。長年にわたってキリスト教団体は福音伝道を数字で評価し、改宗者の数によってルワンダの変化の度合いを測ってきました。ルワンダは1994年以前においては、アフリカで最も福音化に成功した国であり、ルワンダを新しい「キリスト教国」と宣言する人も現れるほどでした。

そして、1994年4月6日、ルワンダとブルンジの両大統領を乗せた飛行機が撃墜されたのでした。殺戮はその夜に始まり、それから100日余りの間に80万人以上の人びとが殺害されました。大量殺人の罪で有罪となった人物の中には、福音派の牧師とその息子がいました。教会はこの惨劇を食い止めるために何かなし得たのでしょうか。

2つのよくある福音の歪み：

福音を構成する4区分(4章)すべてをしっかりと頭に入れておかないと、一部のメッセージだけを強調してしまい、残りのメッセージを軽視したり、あるいは否定さえしてしまいます。このような場合、私たちは2つのよくある福音の歪みの内、どちらかの犠牲者となってしまい、それが、私たちが信仰を生きる上で大きな影響を及ぼすのです。

切断された福音、つまり2区分(2章)の福音は、2つのよくある歪みのうちの一つを引き起こすことがあります。

一つ目の歪みは、**文化の改革を強調するあまり個人の改宗を軽視してしまう**もので、福音が社会化された宗教、いわゆる**社会的福音**となってしまいます。これは、福音の第2区分(2章)と第3区分(3章)―墮落と贖い―が、個人に適応されないことから生じます。その結果、個人の責任については無関心になり、個人の救いの必要性が低く評価されてしまうのです。ここでは、教会は社会問題にばかり関心を持って、個人の改宗へと導く福音宣教の必要性を無視しています。

二つ目の歪みは、現代の福音宣教によく見られるのですが、**個人の改宗を強調するあまり文化の改革を軽視する**もので、個人主義的な宗教、すなわち社会変化を伴わない個人的な信仰になってしまうものです。これは、福音の第1章と第4区分(4章)―創造と回復―が、無視されるか、**その重要性が軽視される場合**に起こります。この時、教会は福音宣教にばかり関心を持ち、改宗が起こるその文化的背景を無視しています。これは、2区分(2章)の福音(墮落と贖い)が創造の秩序の重要性を認識していないために起こるものです。

この課の目的は、私たちがどのように信仰を生きているかを検討し、無意識に受け入れているかもしれない歪みを是正することにあります。振り子が揺れるように、片方の側から別の側に移行するようなことをしたくはありません。それは歪みを取り換えるだけであって、是正することにはならないからです。歪みを是正する方法はただ一つ、福音を全体像でとらえることです。つまり、切断された福音ではなく、4区分(4章)の福音全部を受け入れることです。

では、最初の質問に戻りましょう。ルワンダの大虐殺を食い止めるために、教会にできることはあったのでしょうか。御国のストーリーは、ルワンダの社会的、文化的状況にどのように関わってくるのでしょうか。

コメント [s8]: いわゆる宣教活動よりももっと限定された活動のことです

前に述べた通り、ルアンダは他のアフリカ諸国に比べて最も福音化が進められ、また、人口比率で最も高い改宗率を誇っていました。しかしながら、その信仰は個人主義的で、人々の住む社会的・文化的状況には全く無関心なものでした。

もう一度、ルワンダの状況について見てみましょう。ルワンダではどのような文化的問題に取り組むべきだったのでしょうか。また、その問題に取り組むのに最もふさわしい立場にあったのは誰でしょうか。

ルワンダの大虐殺では、民族間の対立が大きな問題となっていました。植民地化を進めていた頃、オランダ人はルワンダ人を人為的かつ恣意的に分断し、一部の人を他の人よりも高い地位に置いたのです。このような不当な行いは、神の似姿として創造された一人一人の人間が持つ価値と尊厳を無視するものでした。教会は、人間は価値ある存在であるということも知っていましたし、また、罪の赦しや神との和解を受ける方法についても理解していました。ですから、この問題に取り組むに最もふさわしい立場にいたのです。恐らく敬虔なクリスチャンの多くが和解のミニストリーに個人的に従事していたことでしょう。けれども、教会は全体として、もっと規模の大きな問題には無関心でいたのです。

その他にも虐殺の一因となった重要な問題があります。貧困や失業問題の悪化です。土地利用の失敗や農地不足が食料難を招きました。政府による横暴や、近隣諸国との関係が悪かったことなども一因となりました。教会はこれらの問題に取り組む努力をほとんどしませんでした。それよりもさらに重要なことは、クリスチャン一人一人がそれぞれの仕事の場において、贖いという観点から治めるという使命を果たさなかったことでした。福音を2区分(2章)の福音としてとらえる時には、このように、職業としての仕事と神からの使命とがかけ離れてしまうことがよくあります。そして、農業や財政といった仕事もキリストが治めておられるということが、忘れられたり軽視されたりするのです。

ディスカッション

1. 2区分(2章)の福音は大虐殺を招く一因となったのでしょうか。そうだとしたら、どのようにしてそうなったのでしょうか。

解答例：「2区分(2章)の福音」という枠組みは、長年くすぶっていた文化的な緊張関係を見落としてしまいました。なぜなら、2区分の福音では、改宗者が増えれば文化も自然に変化していくと考えられていたからです。これはよくある考え方ですが、最近ではそれが真実ではないことが分かってきました。(James Hunter 著 “To Change the World” 参照 <http://www.ttf.org/index/findings/detail/to-change-the-world/>)。問題が悪化した原因は、新しい改宗者や新しい教会が生まれたからではなく、個人の改宗と文化の改革が完全に切り離されて考えられていたからでした。このような数字では測れないことが原因となっていたのです。

2. 4区分(4章)の福音(創造、墮落、贖い、回復)は、どのような違いをもたらすことができたのでしょうか。

解答例：誰一人として未来を予測することはできませんし、起こってしまったことをやり直すことはできません。けれども、もしルワンダの教会が持てるものをもっと文化の改革や社会の改革のために用いていたならば、違う方向に向かっていけたかもしれません。4区分(4章)の福音では、私たちは「治める」こと、つまり、生活のすべてを形作るという使命を果たすことが求められています。さらに、人間は今墮落した状態にあります。ですから、福音宣教と文化的改革の両方が必要です。もし教会がもっとルワンダの文化的な改革に目を向けていれば、大虐殺は避けられたかもしれないのです。

3. もし文化の改革が神から与えられた優先事項であると考えられていたならば、その場合教会はどんな問題に取り組むことができたのでしょうか。

解答例：「2区分（2章）の福音は、この国に存在する重大な亀裂を無視していました。例えば、長年にわたるフツ族とツチ族の間の根強い敵対関係、人口密度の増加、人口当たりの食料生産の急激な減少（干ばつや使いすぎによる土地の疲弊、その結果として起こる大量の森林破壊などが原因となっている）といった問題です。その結果、土地を持たない飢えた若者たちによる盗みや暴行が、ますます増加していきました。

コメント [s9]: この下線は元からあるものです

実習

2区分の福音か、4区分の福音か - ディベート／ディスカッション

はじめに：テーマについてディベートするために、グループを2人ずつのペアか、小人数のグループに分けてください。各組にそれぞれ以下の4つの挿話から1つをテーマとして与え、どちらを支持する立場にまわるか指示を与えます。その中の一組に何故その挿話の説明が2区分（2章）の福音を一番よく表現しているのか述べてもらい、別の一組に何故それが4区分（4章）の福音を表現しているのか述べてもらいます。各組が必ず以下の3点をしっかりと判断出来るようにしてください。1）その挿話は福音のどの区分（章）を表しているでしょうか。2）欠けた区分があるとすれば、どの区分（章）ですか。3）その欠けた区分（章）がもし存在していたら、どんな違いが出てくるでしょうか。

挿話の説明は、微妙な点で判断が難しいのですが、それは、2区分（2章）の福音と4区分（4章）の福音が共に多くの共通点を持っているからです。この練習は、学習者がその微妙な点を識別できるようになるのを助けるためのものです。必要なら、各挿話後にそれぞれの下の欄に書かれた注を利用してグループの人たちに質問してください。

注：この用紙は教師用で、解答が載せられています。解答のないものを用意してグループの人たちに与えてください。

挿話#1：牧師の説教

「福音、すなわち良い知らせとは、イエスがこの世界を新しくするために来られたこと、そして、今も恵みによってそのことをなされているということです。福音とは、キリストによってすべてのことが、新しくされ、変えられるということです。すなわち、心も、関係も、教会も、共同体も、あらゆることが変えられるのです。このことがすべての教理を理解する鍵であり、また、この世における私たちの人生をどうとらえるかの鍵となるものです。ですから、私たちの問題はすべて、福音に順応していないことから起こるのです。前向きに考えるなら、福音が私たちの心や考え方を**変え**、そして、私たちがどんなことに取り組む時にも、**取り組む姿勢を変えてくれる**のです。」¹¹

解答例：この引用文は、4区分（4章）の福音を明確に表現していると思われます。この牧師は、キリストが人間の心や様々な関係、教会や共同体を変える働きをされているということを認識しています。彼は福音のメッセージをすべて包括的に表現しています。

挿話#2：カンファレンスの講演者

「神の御国を作り上げるものは、信仰ある祈りです。神のために何かをなそうと思うなら、あなたに必要なものは信仰だけです。神を信頼するならば、あなたの道をさえぎる障害物を神は取り除いてくださいます。その最たるものはあなた自身であり、あなたの肉による努力なのです。どきなさい、あなたの思いは捨てて、神にお任せしなさい。」

解答例：誰も、信仰と祈りの重要性を否定することはできません。講演者が語っている問題は現実の問題です。というのは、私たちはしばしば罪深いまでに自分の力だけで物事を行ってしまうからです。け

¹¹ Tim Keller の様々な話と説教による

れども、私たちの祈りは時に、本当の信仰ではなく、責任放棄の祈りであることがあります。神は私たちに治める権利を与えてくださいましたが、私たちは神にそれを投げ返して、その仕事を私たちの代わりにやっただけだと神に頼んでいるのです。ここでは、御国のストーリーの第1区分(1章)である創造が、軽視されているように思われます。創造、そして神の御国には、物質的な側面があつて、私たちはそれらを治める責任があるのです。私たちは綿密に考え計画するよう気をつけなければなりません。神の恵みを知って感謝しつつ、信仰を持ってしっかりと仕事をしていくには、祈りと熱心な働きが必要なのです。

福音の創造の区分を無視してしまうと、私たちの信仰は根拠のないものになり、また、実体のないものになってしまいます。けれどもまた、贖いの区分を誤って理解し、十字架を軽視してしまうと、働きによる救いという過ちに陥ってしまいます。

2区分(2章)の福音か、4区分(4章)の福音か ディベート／ディスカッション—続き

挿話#3：デボーションの文章

「外から見ると、私たちは大体、日常の平凡なことや些細な責務、取るに足りない仕事などで忙しくしているように見えるでしょう。けれども内面的には、私たちは常にこれらすべてにあつて、どうすれば神に喜ばれるかを考えていますし、また、そうしなければなりません。私たちの歩みは神が見ておられますし、私たちは神の臨在のもとにすべてを行っています。ですから、私たちはそれらのことを、神ならどのようにされるだろうか考えながら行うのです。つまり、こうした些細な事柄に囲まれつつも、私たち人間は、どのような場にあつても、神を喜ばせることが出来るのです。つまり、御使いが天において神の意志を行なっているのと同じように、私たちもこの地において神の意志を行うという意味において、御使いのような生き方をすることが出来るのです。」²

解答例：この例題は、著者が言っていることがほとんど正しいために、紛らわしい点があります。私たちはすべてのことを、神の栄誉と栄光のために行うべきですし、そうする上で私たちの内面的な生活はとても重要です。私もこの点については全く同感です。

けれども、私はこの例題には、2つの点で問題があると思います。

第一に、著者は私たちの毎日の仕事のことを、「平凡なこと、些細な責務、取るに足りない仕事」と表現しています。物質的な世界と、その中における私たちの役割は、価値の低いものであると考えられていて、「平凡で、些細で、取るに足りない」と決めつけられています。内面的な生活だけが価値あるものであるかのように。私たちが行なうことと、私たちの人間性が、全く切り離されています。

第二に、これらの「取るに足りない仕事」と、神がなぜ私たちがそれらを行なうことに関心を持たれるか、その論理的なつながりがありません。私たちは信仰を持って従順にそれらを行なうというだけです。私が思うに、それらの仕事は決して価値がないのではなく、価値あることであるがゆえに神が関心を持っておられるのです。この世は、神から与えられた支配権を私たちが行使する場であつて、私たちは平凡ではあつても決して価値のないものではない事柄について、きちんと治めるべきなのです。

挿話#4：宣教奉仕者の募集担当者

² Edward B. Pussy

「あなたの人生を捧げることでできる素晴らしい仕事は、たくさんあります。教師や医者やセールスマンになることもその一つでしょう。けれども、フルタイムのクリスチャン奉仕者になることに比べたら、それらの仕事はその意味と意義という点で、色あせて見えはしないでしょうか。あなたは、ABCを教えることも、ズボンを売ることもできるでしょう。けれども、神から離れて永遠を過ごさなければならない人々を救うこともできるのです。どちらの方がもっと意味のある仕事でしょうか。実際のところ、クリスチャンでなくても子どもに読み書きを教えたり、布地の商売をしたりすることはできるのです。でも神は、御ことを伝えるためにあなたを必要としています！あなたはどうか答えますか。あなたは人生の終わりに振り返ってみて、自分は人生でいったい何台のコンピューターを修理したかどうかと、考えたいですか。あるいは、キリストのために何人の人に影響を与えたいかどうかと、考えたいですか。どちらの方が意味のあることだと思いますか。」

解答例：キリストを知らないで死んでいく人々を心から思いやる気持ちについては、私は素晴らしいと思いますし、この募集担当者の思いやりある側面については私も称賛したいとは思っています。キリストのために人々に福音を伝える大切さは、御国にある者にとって、決して軽んじてはならないことです。

しかしながら、この募集の文言は明らかに、一つの働きを別の働きよりも高く評価しています。つまり、ミニストリーの方が他の仕事よりも神聖で、より高度な働きであるとしているのです。ここでは、私たちが自分の仕事場においてしっかりと治めることの価値が否定されています。このような考え方は私たちが住む世界の価値を低くするものです。なぜなら、それは、人間の魂を救うためには、その人間が住む文化を作り上げる仕事をやめるべきであると言っているからです。4区分(4章)の福音は、個人の改宗と文化の改革の両方を、正しく評価するものです。

御国のストーリー

プロジェクトについてのディスカッション
「原状、現状、可能性、将来」を用いて適用する
25分間

プロジェクトの内容を考慮しつつ、グループの一人一人に、彼らの仕事における4区分(4章)(原状、現状、可能性、将来)について、事業、職業、会社の責任、個人的な責任について触れながら説明してもらってください。

まとめと課題
15分間

次のミーティングの日時など、グループで決めておくべきことがあれば、ここで行なってください。

以下は次回の読書課題とプロジェクトです。

読書課題：贖いの共同体と神の国

プロジェクト：人々との関係を広げるパーティを主催する。

コメント [s10]: さきほどと同様

*人々との関係を広げるパーティの主催を個人で行なうかグループで行なうかは、グループのメンバーと一緒に決めてください。時間と詳細について話し合ってください。

コメント [s11]: 同上